

二度上峠（にどあげとうげ）は、群馬県高崎市倉渕川浦地区と、長野原町北軽井沢の間にある峠です。軽井沢市街地が渋滞していても、この道は確実に空いているので、よく利用しています。高崎市側から登ってくると70ものカーブがあり、番号札までついています。日光の「いろは坂」の上をいっています。

二度上峠の道（県道54号線）は、よく霧にまかれます。霧の正体は雲です。正確には「霧粒」と「雲粒」は同じもの、ということです。雨粒に比べて直径は100分の1、体積や重さは100万分の1しかないので、わずかな空気の動きでも浮いていられます。

この日の二度上峠は濃霧でした。特に峠頂が近づき標高が上がると、完全に雲の中に入るので、より霧が濃くなります。その中を慎重に運転しながら、助手席前面に固定したビデオカメラで撮影しました。是非「霧の峠道」を実感してください。

